

TOHATSU

# PARTNER

2010年1月1日発行／新年号

VOL.80



PHOTO：東京・浅草寺お正月風景

## C O N T E N T S

- |                       |      |                        |     |
|-----------------------|------|------------------------|-----|
| ●年頭ご挨拶                | P2   | ●東京板橋区へVF21AS納入        | P6  |
| ●トーハツを消防団協力事業所に認定     | P3   | ●道南・せたな町へ軽積載車(デッキバン)納入 | P6  |
| ●平川市へ軽積載車(デッキバン)納入    | P3   | ●九州・山口トーハツポンプ会が技術講習会   | P7  |
| ●第19回全国女性消防操法大会       | P4~5 | ●中部トーハツポンプ会が上海国際消防展へ   | P7  |
| ●第39回東京都消防操法大会        | P4~5 | ●東北トーハツポンプ会が北京防災展を視察   | P7  |
| ●釧路で消防団員技能技術大会        | P4~5 | ●中央トーハツポンプ会が秋季総会       | P7  |
| ●東京板橋区で自衛消防操法大会       | P4~5 | ●山陰地区 技術講習会開催          | 裏表紙 |
| ●東京ビッグサイトで危機管理産業展2009 | P4   | ●マリン北海道が技術講習会          | 裏表紙 |



トーハツ株式会社  
代表取締役社長 金子 満

## 年頭ご挨拶

平成22年の新年を寿ぎ謹んでお慶び申し上げます。

平素「パートナー」をご愛読頂いている皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

年頭にあたりまして、ひとこと新年のご挨拶を申し上げますと共に、平成21年を顧み、新しい年の抱負の一端を述べさせていただきます。

昨年は、世界的な経済を索引し自他共に大国として君臨する米国はオバマ新大統領の登場と、国内に於いては衆議院選挙に於いて、自民党に替わり、民意を得た民主党・鳩山政権の誕生という大きな政治的変革がありました。

また、我々の日々の生活により密接な出来事として、従来の季節型インフルエンザに加えて、新種のウイルス構造を持った新型インフルエンザの発生があります。新型インフルエンザはいまだに衰退する兆しもなく、不安の中で新しい年がやってきました。日常生活の中でできる予防活動を続けると共に、安全性の高い予防ワクチンの接種により、不安のない生活環境が一刻も早く作られることを願わざるにはおられません。

一方、昨年の世界の経済を顧みますと、一昨年秋の米国のリーマンショックに端を発した世界的金融危機により、世界経済が低迷し、特に国内に於いてはデフレスパイラルが勢いを増して我々の生活の中にも浸透してきることが切実に感じられます。

米国に於いては、生活基盤政策として省エネ住宅への改修支援、雇用対策として日本円で70兆円にも及ぶ支援を行う一方で、昨年の11月に発生したドバイショックなど潜在的な金融危機を含んでの新しい年の幕開けとなりました。

そして、国内においては政府の景気刺激策として雇用調整助成金の支給条件の緩和策、景気対応緊急保証、返済遅れにおける国の100%肩代わり制度などに加えて、省エネ家電のエコポイントの本年12月末までの延長、エコカー補助の本年9月までの延長などが決定されました。しかしながら一方で、財政全体のバランスから、予定されていた中小企業法人税減税の平成22年度からの施行が見送りとなるなど、歳入・税収バランスからくる、景気後退策とも取れる政策も決定されました。

環境問題を見てもみますと、温室効果ガス削減がより切実な問題として年ごとにクローズアップされつつありますが、昨年のCOP15におけるデンマーク合意案、2050年までに温室効果ガスを半減させる計画が先進国と開発途上国の思惑がある中で、公平で実効性のある「政治合意」としてまとめられるかが焦点となっております。しかし、今の時代にこの地球上に住む全人類ひとりひとりが温室効果ガス削減の義務を負う、全人類環境元年として新しい年を位置づけることを認識し、この活動を促進させない限り、温室効果ガス削減は実現できません。ISO14001活動をもとに、全社をあげて温室効果ガス削減に取り組んでゆきたいと考えております。

経済、環境面だけでも、これだけの問題を抱えての新年の幕開けですが、私としては弊社の企業理念であります、社会貢献・顧客満足を基軸にして、グローバルな問題に製造メーカーとして、どう対応できるかがポイントになる年だと思っております。

マリ事業につきましては、環境配慮型商品の更なる充実と地域ニーズに合った信頼性が高く、ユーザーが求めやすい製品の充実です。

一方、防災事業につきましては、環境配慮型商品の開発は言うまでもなく、防災商品の裾野の拡大と全世界への販売の拡大であります。また、顧客満足のひとつとして、更なる顧客サービス体制の強化とよりキメ細かいサービスの実現に向けて努力をしております。

私は、社長就任以来、「スピード」「チャレンジ」「ヒューマン」のキーワードをもとに経営を進めてまいりました。私たちを取り巻く環境は思いもよらぬスピードで常に変化をしております。今年は3つのキーワードを全社員と共に、「スピード」の更なるスピードアップ化、チャレンジしてつくれた今の土台からの再チャレンジを行い、その結果としてマルチパーパス「ヒューマン」によって支えられる企業体質を構築してゆきたいと考えております。

景気低迷の混沌とした新年の計として、墨守成規の考え方を一切切り捨て去り、一歩ずつ努力を重ねれば明るい未来が必ずや到来することは世の長い歴史を知れば明らかです。

今年も皆様方の倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

新しい年が、皆様並びにご家族様にとりまして良い年となりますよう、お祈り申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 東京消防庁がトーハツを消防団協力事業所として認定

トーハツ(株)は、このほど東京消防庁から消防団協力事業所として認定され、去る10月6日、本社3階会議室に於いて認定証の授与式が行われました。この消防団協力事業所とは、地元消防団の活動に協力的な事業所を消防庁が認定し表示証を交付し、協力事業所が地域への貢献を果たしていることを社会的に評価する制度のことです。

認定証授与式には消防庁関係者が出席。終始和やかな雰囲気の中でトーハツ



(株)金子社長に認定証が手渡されました。式典後の記念撮影時には、「折角だから認定証を持ちながら撮影しましょう」ということになって、認定証とともに全員揃って記念撮影。無事授与式が終了しました。

(総務部/佐藤)



## 青森県平川市へ VF63AS搭載の軽積載車 (デッキバン)5台を納入

古来より肥沃な穀倉地帯として繁栄してきた青森県の平川市へ、去る9月29日、4ストロークポンプ「VF63AS」搭載の軽積載車(デッキバンタイプ)5台が納入されました。

納入に伴う配置式には同市の消防職員・消防団など関係者多数が出席。また同式典終了後には、分団ごとの取扱い説明会、更にテスト放水などが実施され、ポンプの特徴・操作・機能など多岐にわたる質疑応答が交わされました。とりわけ特徴面では「騒音・白煙が少なく操作も簡単だ」との感想が多く聞かれ、ECOポンプ「トーハツ・4ストロークエンジン」へ高い評価を頂きました。

この度の納入につきましては、ご採用頂きました平川市様、また販売にご尽力頂きました(有)丸栄消機様には改めて厚くお礼申し上げます。

(防災東北/中島)



全国各地で  
操法大会開く

トーハツチー  
大活躍!

## 厳しい訓練の成果を披露!

# 第19回 全国女性消防操法大会

澄み渡った秋晴れの空の下、第19回全国女性消防操法大会が去る10月22日、神奈川県横浜市にある消防訓練センターで行われ、出場チーム全47隊が厳しい訓練の成果を披露しました。

女性消防隊の方々は、日頃、地元地域の安全と安心を守るために日夜活動しています。全国大会出場が決まると、数ヶ月に及ぶ厳しい訓練を乗り越え大会に臨んでおります。日頃は家事、育児、仕事に追われながら、その合間に消防訓練などを行うため、家族の協力はもちろん関係機関の支援も大きな励みになります。

さて大会前日。緊張の度合いが徐々に高まるなか、消防ポンプなど機材の点検整備が入念に行われます。小さな点検ミスが競技の行方を大きく左右するからです。そして、いよいよ大会当日。選手、関係者の方々は早朝の日の出と共に会場入り。さっそく選手達は、競技に向けて機材の確認やウォーミングアップを開始。この頃が不安と緊張が一番交錯する時刻です。この雰囲気は、地元から駆けつけた応援団員にも伝わるぐらいでした。



47隊の入場行進が始まり、選手宣誓。このあと競技開始の号砲と共に規律とタイムの争いがスタートしました。中には競技終了後、感極まって涙ぐむ選手もいて、規律とタイムへの重圧感がリアルに伝わってきます。観客席の応援団から拍手と歓声の大きな波が押し寄せてきます。競技は、薄暮まで続けました。

選手の皆さん、関係者の皆さん、そして地元応援団の皆さん、本当にお疲れ様でした。

(防災中央/志津川)



## 東京ビッグサイトで 危機管理産業展2009

# トーハツ 救助・救急関連のプロツールを展示

去る10月21日(金)~23日(日)までの3日間、今年も東京ビッグサイトで災害用資機材の「危機管理産業展」が開かれ、期間中の入場者は延べ27548人。災害関連への関心の高さを示しました。

トーハツでは、救助用資機材(熱画像直視装置、画像探査機「型」、水中探査装置、熱源センサー)を中心に、隊員用装備品(急流、山岳、ガレ場救助装備、防火マスク、クーリングベスト)、更に救急・感染症対策資機材(CPRトレーニングマネキン、陽圧式科学防護服、陰圧式患者搬送装置)、可搬消防ポンプ(4ストローク・VF21AS)など幅広く展示。とりわけ「モンベル商品」の展示と「ライト・マルチツール」の即売会が反響を呼んで、トーハツ・ブースは終始来客が絶えない盛況ぶりでした。

また、来場されるトーハツ特約販売店さんの中には、ユー

ザー同伴の方々もあって、各資機材製品への認識を互いに深められていました。販売店様には誌面を借りまして厚くお礼申し上げます。

(防災営業部/友田)



# 第39回東京都消防操法大会は 大田区の大森消防団が優勝

ム



去る10月10日、(社)東京都消防協会などの主催による第39回東京都消防操法大会が、渋谷区西原の東京消防庁消防学校で開催され、可搬消防ポンプの部ではトーハツ「VC72AS」で出場した大森消防団チームが見事優勝。また準優勝は、トーハツ本社のお膝元である板橋消防団チームが、4ストロークポンプ「VF63AS」を擁して獲得。オール・トーハツデーの1日となりました。

両消防団チーム及び関係者の方々には、心からお祝い申し上げます。大変お疲れ様でした。  
(防災中央/志津川)



## トーハツ「VF53AS」で 弟子屈消防団が優勝!

### 第54回消防協会釧路支部 消防団員技能技術大会開く

第54回消防協会釧路支部消防団員技能技術大会が、快晴に恵まれた去る9月12日、昨年に引き続き釧路市消防訓練場(愛国)で開催されました。

訓練に訓練を重ねてこの日を迎えた各地区消防団は、全13チーム。文字通り模範的な技能と技能の争いが展開されました。同大会は、4年に一度競技ルールが変更されますが、今回で2年目。ルールにも慣れ、各チームとも実力発揮のチャンスです。新ルールは、係員による「始め!」の合図で競技がスタート。エンジン操作・始動からホース連結作業を経て、2階家の火災



現場を想定した仮設の2階から放水。標的のプロパンボンベ(赤色)を倒すまでタイムは凡そ30秒。その間に障害物が置かれ、それを倒すと減点されます。



この厳しい新ルールの下に、出場13チームの技と技が激突。最終的にはトーハツポンプ「VF53AS」で出場した弟子屈消防団が記録した総合所要時間「30.51秒」が他チームを圧倒して優勝。釧路地区の頂点を極めました。弟子屈消防団の皆様、優勝おめでとうございます。またトーハツポンプで出場された他の消防団の皆様には改めて厚くお礼申し上げます。

(防災北海道/長谷川)



東京・板橋区志村消防署主催の第41回自衛消防操法大会が、去る9月15日、板橋区にある東京都下水道局河岸水再生センターで開催されました。

今年も区内の民間企業などから多くの精鋭チームが参加。会場はあいにくの曇天にもかかわらず日頃の訓練成果を発揮しようと、隊員たちの意気込みで熱気ムンムン。操法開始前から大きな盛り上がりを見せました。

今回のトーハツ自衛消防隊は、新メンバーが加入してから初めての大会参加とあって各隊員はいささか緊張気味の体。それでも手引き動力ポンプの部では、1位から6位までの点数差が15点と言う大接戦を凌いで、終わってみればわがトーハツチームは見事準優勝。自画自賛と言われそうですが、その奮戦振りには大いに敬意を表します。おめでとうございます。

この日参加した多くの自衛消防隊員の皆さん、そして日々厳しい訓練に耐えたわがトーハツ自衛消防隊員の皆さん、そして大会運営にご尽力して頂いた関係者の皆さん、大変お疲れ様でした。  
(総務部/佐藤)

## トーハツチーム準優勝! 板橋区で自衛消防操法大会



# 東京・板橋区へ VF21AS 27台一括納入!



トーハツ(株)本社のお膝元である東京都板橋区へ、この程4ストローク可搬消防ポンプ「VF21AS」27台が一括納入されました。

このモデルは、静粛性など環境性能面で既に各地で高い評価を得ているVF63/VF53シリーズの姉妹機として、その高い性能を受け継ぐ新製品です。板橋区では、とりわけ地球温暖化防止に力を注いでおり、早くから同4ストロークポンプに注目。採用を検討しておりました。担当者の方々には、トーハツに何度も足をお運び頂きながら同モデルのデモンストレーションを視察。環境性に富んだ高性能ぶりをしっかり確認された上で、この度の採用となった次第です。

また納入前の中間検査時にはエンジンのテスト始動

を行います、同区の担当者はその静粛性に改めてびっくり。防災訓練時の消防ポンプの騒音が問題化している折から、この度の納入モデルは有効な打開策になると自信をふかめていました。

最後になりましたが、トーハツ可搬消防ポンプをご採用頂きました板橋区、並びに販売にご尽力頂いた東京物産(株)様には厚くお礼申し上げます。

(防災中央/田中)



道南・せたな町へ軽四駆デッキバン納入  
同タイプの採用は北海道内で初めて

北海道南部のせたな町消防署瀬棚支署では、この程消防団向けとして4ストロークエンジンポンプ「VF63AS」搭載の軽四輪駆動消防車(デッキバンタイプ)を採用されました。

この地区には檜山広域行政組合があり、同地域7町で組織されています。かつて南西沖地震で大きな被害を被った事もあり、それらの経験から防災に対する意識が高く、消防資機材への関心の深さは勿論、講習会、点検など常時怠りなく行われています。この度納入のトーハツ・デッキバンには、大型車両ではカバーしきれない狭い所を機動的な軽積載車で補う細やかな対策が込められています。

道内で初納入となった同デッキバンは、署長や団長など関係者の皆さんから高い評価を頂き、さっそく神社で入魂式を済ませました。また午後は、ポンプ・車両の取扱い説明や放水テストなどを実施。この後、同町消防団に配備されました。

末筆となりましたが、せたな町消防団の益々のご発展を祈念すると共に、更に軽積載車の普及されることを願ってやみません。納入に当たりご尽力頂いた(株)北海道モリタ様には厚く礼申し上げます。

(防災北海道/長谷川)



## 4ストロークポンプ／VCPROの両機をメインに九州・山口ブロックが技術講習会

東北ブロック／中央ブロックなどトータンプン会による技術講習会が相次ぐ中、九州・山口トータンプン会による平成21年度技術講習会が、去る10月15日・16日の両日、熊本県にあるクレアージュリゾートで開催されました。

今回のメインモデルは、いま各地で好評を頂いている4ストロークポンプとVCPROの2モデル。同ブロックの各販売店から大勢の参加者を得て、電装系統、構造、営業サービスの3部門に分かれて実施されました。またこの度は、本社防災課の志津川係長の強い要望もあって放水実演ができる環境と施設を準備。参加者からも大いに喜ばれました。この講習会で得た知識を活用し、今後も更なる拡販を期待したいところです。

末筆になりましたが、この度の会場の準備や設営に大変ご尽力頂いた三輝物産(株)・林田常務をはじめ、防災担当者の皆様には厚くお礼申し上げます。(防災九州／小河)



## 中部トータンプン会秋季総会は「上海国際消防展」視察旅行



中部トータンプン会では、去る9月25日から秋季総会を兼ねた2泊3日の上海国際消防展示会の視察旅行を実施しました。

さすがは中国一の商業都市・上海とあって規模も大きく、最新の消防機器や救助機材が目白押し。また中国製の可愛い消防自動車なども見学できて、一行は大変有意義な時間を過ごしました。

一方、展示会視察後に行われた総会では、拡販の推進とサービス体制の強化などについて検討。また今後トータンプンと販売店が更に密接な協力関係を構築するための方策なども熱心に議論が尽くされ閉会。27日、参加者9名、元気で帰国しました。皆さん大変お疲れ様でした。(防災中部／福田)

## 東北トータンプン会 秋季研修旅行で中国北京防災展視察



東北トータンプン会では、去る10月16日から19日まで、3泊4日の中国北京防災展の視察と西安地区観光を楽しむ秋季研修旅行を実施しました。

業務多忙の最中とあって会員全員の参加とは成らずちょっと残念でしたが、北京防災展では会場規模の凄さに圧倒されつつも興味津々で各ブースを見学しました。見学に際し、とりわけお世話になったトータンプンの現地特約販売店「HOWSWING社」様には厚くお礼申し上げます。

翌日、次の楽しみの一つ西安観光では、兵馬俑を残す「兵馬俑攻博物館」をはじめ、楊貴妃が愛した池「華清池」、三蔵法師が建てた「大雁塔」、更にシルクロードの起点「城壁西門」などを見学。中国の壮大な歴史と景観に終始圧倒され続ける旅でした。また毎夜の夕食会では、北京ダックや13種類もの餃子料理に舌鼓。このグルメ旅でやや体重が増えた方が多いようですが、予定通り全員無事に帰国しました。

皆様大変お疲れ様でした。  
(東北トータンプン会事務局/中島)



## 千葉県鴨川市でトータンプン中央会が秋季総会



トータンプン中央会秋季総会が、去る10月23日・24日の両日、千葉県鴨川市にある鴨川グランドホテルで開催されました。

秋季総会に先立って行われた報告会では、藤松会長の挨拶のあと事務局より事業報告や事業計画等の説明がありました。

引き続き開かれた秋季総会では、会員から各地域の様々な状況が報告されました。特に経済不況や市町村合併などにより市場が一段と厳しさを増す中で、4ストロークエンジンポンプ「VFシリーズ」や操法最適ポンプ「PRO II」などを主力に、シェア拡大に努力している現状の一端が窺えました。

さて総会終了の後は一風呂浴びてリラックス。席を宴会場に移しての懇親会では、会員共ども夜遅くまで大いに親睦を深めていました。

翌日は千葉・南房総の物産店に立ち寄り、土産物のお買い物。和気あいあいと帰途につきました。会員の皆様、大変お疲れ様でした。(防災中央／伊藤)

## 山陰地区 技術講習会開催



平成21年10月14日、鳥取県境港市の境港公共マリナーにてトーハツ船外機技術講習会を実施致しました。当日は8社12名の受講参加者。講師には主にMFS25/30B(人気機種)について講義して頂きました。船外機の各部機構及びダイアグシステム、トラブルシューティングに至るまで細かな説明に受講者は皆真剣に耳を傾け時には質問を投げ掛ける場面や改善要望などもあり、実に濃い内容の講習会になったと実感致しました。当日受講頂いた各販売店の皆様お疲れ様でした。今後共、弊社製品の販売及びメンテナンス宜しくお願い致します。最後にスタッフの皆様お疲れ様でした。

(マリン関西/三好)

## マリン北海道 札幌市で船外機の技術講習会

マリン北海道では、去る10月22日・23日の両日、札幌市内の我路マリンさんの工場を特設会場として拝借し、トーハツ船外機の技術講習会を実施。今回は、4ストロークEFI、2ストロークTLDIエンジンの2モデルをメインに行われました。

この時期、道内では初雪の便りも聞かれ、札幌も肌寒いお天気でしたが、4ストロークエンジンと2ストロークTLDIエンジンを用意して予定通り開講。4ストロークでは、タペット他エンジン主要部分の分解、組立て関係、交換必要パーツなどの説明や、パソコンを使った自己診断も行われました。

また2日目は、TLDIエンジンやプロジェクター映像による説明、MD115Aでの自己診断など、講習は多様に亘りました。販売店の皆さんは、今後の業務に繋げようと熱心に受講。質疑応答にも力がこもっていました。

一方、22日夜行われた懇親会では、受講時の緊張もほぐれ初対面同士の方々も和気あいあい。親交を深めました。この度の講習会が、今後の販売やサービス向上に確実に繋がるものと期待しています。販売店の皆様、ご多忙中のご苦勞様でした。

(マリン北海道/澤邊)



## 発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4  
TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090  
トーハツ株式会社  
トーハツパートナー編集局  
編集兼発行責任者 若林 弘/小山 将